

沖縄県伊平屋村 船舶運航事業特別会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1 経営健全化計画の令和6年度実施状況

（1）計画と具体的な措置の状況

① 収益確保に関する取組

- ・ イベント等を開催することにより、観光客が増加した。
- ・ コロナ禍で減少した民家数について、育成に取り組んではいるものの未だコロナ前の水準には届かず、それに伴い修学旅行生が減少している。
- ・ 住民が安定的に利用できるよう、運賃割引等に対する各種補助事業を継続して実施した。

② コスト削減に関する取組

- ・ 燃料単価、検査費用（ドック費用）については、複数社から見積もりを取ることで、経費の抑制を図った。

（2）資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分 \ 年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 （令和4年度）	第2年度 （令和5年度）	計画最終年度 （令和6年度）
当初計画 A		25,530	9,502	22,519
解消実績額 B		34,739	42,517	▲23,044
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		9,209	33,015	▲45,563
資金不足額	102,555	67,816	25,299	48,343

備考

- 1 「現在計画 C」とは、将来の各年度における資金不足額の解消見込額を報告時点で示したものである。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：％)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (令和4年度)		第2年度 令和5年度		計画最終年度 (令和6年度)		備考
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足 比率	53.3	29.1	25.4	23.8	9.3	15.9	19.3	令和6年度 は、営業収益 及び営業外収 益の減により 資金不足比率 が増加した が、関係機関 と連携して利 用者増に取り 組んでいるの で今後は収益 増加予定。

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・観光客等の利便性向上の観点から、令和6年5月に、オンライン予約及び決済(チケットレス)を導入した。
- ・燃料費や検査費用は、上昇傾向にあるが、運賃改定については、引き続き状況を注視しながら検討する。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

現在の利用者数の回復状況が継続することが前提ではあるが、コロナ渦前の利用者数に戻り、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に定める資金不足比率については、今後も安定的に経営健全化基準を下回ることができる見込みである。

しかし、物価高や人件費高騰など、取り巻く環境は厳しさを増す中、今後も安全対策や検査費用(ドック費用)及び修繕費に多額の費用を要するなど、引き続き厳しい経営状況が見込まれることから、健全な経営の確保に向けた取組を継続していくことが必要である。については、以下のとおり取り組むこととする。

① 収入の増加に関する事項

- ・今後も利用者増に向けて、いへやまつり等のイベントを開催しての観光客の増、民泊の受け入れ体制を整備しての修学旅行生の増に向けて取り組みを行う。
- ・住民への運賃割引等に対する各種補助事業等を引き続き実施する。

② 支出の削減に関する事項

- ・ドック費用について、複数社から見積書を依頼するなど費用の低減に努める。
- ・燃料費については2社以上の見積入札をして引き続き、経費削減に取り組む。
- ・運航回数の調整による費用の抑制、引き続き、運航回数の変更に係る必要な手続き等について、情報収集を行うとともに、変更に伴う課題の洗い出しを行うなど検討を継続する。

③ その他

- ・一時借入金の適切な運用を継続する。
- ・積極的な船員確保対策の継続として、船員確保・育成支援事業補助等の活用により、資格取得や人材育成に取り組むとともに、働き方改革を推進する。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・本計画期間中に収益確保やコスト削減等に取り組み、現在の経営形態でも一定の成果を残すことができた。今後は伊平屋村船舶運航事業会計経営戦略プランを策定し、引き続き伊平屋村船舶運航事業特別会計にあった経営の合理化、安定化を進める。